

**奈良県立大学 COC事業に関するウェブサイト
増設要件仕様書**

2014.10
奈良県立大学

概要

1.1 案件名

奈良県立大学 COC特設ウェブサイト増設

1.2 目的

今回、増設するWebサイトは、COC事業取り組みの一環として構築した『地域創造データベース』のフロントWebサイトとして、「地学連携と学習コモンズシステムによる地域人材の育成と地域再生」をテーマに、4つの学習コモンズの領域において、『地域創造データベース』のコンテンツへのアクセスと、学習コモンズを中心としたインタラクティブなコミュニケーションの「場」として機能することを目的とする。

(1) 情報の整理

COC事業に関わるコンテンツ及び、情報の過不足を分析、整理をする。

(2) COC事業の明確な伝達

「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）は、大学が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的として、平成25年度より実施された文部科学省の事業です。

この事業に対し、全国から319件の申請があり、本学の申請を含め52件が採択されました。

本学が提案した事業名は、「地学連携と学習コモンズシステムによる地域人材の育成と地域再生」であり、以下のような取り組みを行います。

本学では、現在全学的な大学改革に取り組んでおり、平成26年度より新たな教育システムのもとで地域との連携により、全学体制で地域を志向教育・研究・社会貢献を推進します。フィールドワークを重視した実践的教育、ゼミ教育を中心とする「学習コモンズ制」を導入します。学習コモンズは、教員グループと学生グループによって構成される志向性を持った学習共同体です。学習コモンズに「観光創造」「都市文化」「コミュニティデザイン」「地域経済」の4つの領域を設け、課題指向型教育、解決指向型教育によって、地域再生に貢献できる地域人材を育成します。観光創造コモンズは明日香村におけるグリーンツーリズムを中心に、都市文化コモンズは奈良市における都市文化の価値創造を中心に、コミュニティデザインコモンズは桜井市におけるコミュニティ再生を中心に、地域経済コモンズは宇陀市における地域経済の再生を中心に教育・研究・社会貢献という大学が果たすべき3つの機能の実現に取り組みます。

(3) ユーザビリティの向上

訪問者の目線に立ち、分かりやすい動線で必要な情報を得られるようにする。
来訪者への訴求力を高めるべく、視覚的にも魅力的なレイアウトを心がける。

(4) 更新作業の効率化

CMS（Content Management System）を導入してウェブサイトの制作、更新、管理、
運営を省力化することにより、頻繁に発信・更新する情報を、スピーディー、かつ少ない作
業負担で管理できる構成を構築するとともに、情報の鮮度を高め、ユーザーの満足度向上
を目指す。

(5) 体系的な情報管理

Web サイト内のコンテンツが、散逸することなく体系的な情報管理が出来るよう、サイトを
構成する。

Web サイト 増設仕様

2.1 増設の範囲

『地域創造データベース』のフロント Web サイトとして、目的と方針に従い、トップページおよび配下のページを新規に提案するものとする。

また、現在本学 Web サイト (<http://www.narapu.ac.jp>) 内に存在する学習コモンズに関するコンテンツを、必要に応じて再構築し新規サイトに格納すること。

本 Web サイトに誘導するため、本学 Web サイトのトップページからバナー等でリンクを設けること。

2-2.要件

(1) コンテンツ要件

『地域創造データベース』に格納された情報を活用し、学習コモンズに掲げる4つの領域に沿って、アカデミアの観点から地域活性化に貢献するコンテンツを提供する。

4つの学習コモンズの領域の『地域創造データベース』を効果的に活用できるトップページのデザインとする。

学習コモンズを中心としたインタラクティブなコミュニケーションの「場」を実現するにあたって、必要と考えられる電子掲示板や SNS 機能の具体的な要素について提案すること。

(2) システム要件

動作環境について

本学の Web サーバ上で稼働する Web サイトとし、サーバへのインストールで納品とする。

注) システム詳細、インストールの方法等については『地域創造データベース』のサーバ管理運営代行を行う企業と協議のこと。

セキュリティについて

インタラクティブなシステム構築において、Web サイトへの不正な侵入、データ改ざん等の障害が発生するような脆弱性を排除するよう、セキュリティ対策を講じること。

CMS について

CMS で必要なテンプレートは、適切な数を提案のこと。

ワークフローは、申請 最終承認まで任意のレベルの承認が可能であること。

情報発信部署個々に定義と管理の設定が可能であること。

更に承認は、代理承認が可能であること。

2.3 本案件の構築期間

平成26年11月中下旬～平成27年3月末日までの4.5ヵ月間に、詳細設計、フレームワークおよびCMSの構築と、特設ページの制作が終了するスケジュール感で調整すること。

提案提出内容について

3-1. 提出物

(1) Webサイト構築企画提案書

デザイン案

デザイン案を提示すること。サンプルの様式は指定しない。

WEBサイト全体構成

CMS機能提案書

コンテンツ運用フロー

(2) 見積書

制作費

リニューアル提案書、デザイン案に基づき、CMS導入・フレームワーク設置・基本デザインの制作、および費用見積りを提示すること。

運用費用（サーバ運用費含む）

ASP使用の場合、ソフトウェア・ライセンス費用は、初期導入費用と月単位のランニングコストを明示したうえで、1年間の総額見積を提示すること。

年間に予測されるサーバ運用費を月次換算して、提示すること。

ドメイン別途取得

納品成果物

4.1 納品物仕様

(1) 成果物を、紙媒体及びDVD-R等の電磁的記録媒体により納品すること。

(2) 納品部数について

紙媒体は2部、電磁的記録媒体は正副2部とし、納品形式については、以下のとおりとする。

紙媒体について、用紙サイズはA4 横を基本とする。ただし、図表等は必要に応じてA3 縦、横を使用可能とする。

電子媒体等に保存する文書形式は、Microsoft Word、Excel、PowerPoint で読込・編集が可能な形式とする。

各テンプレート追加のレイアウトデータや、画像データ・素材など(A I , P S D , P N G , E P S 等) は、それぞれのソースのデータとする。

(3) 本学へ提示する電子ファイルは、事前にウイルス対策ソフトによるチェックを行い、悪意のあるソフトウェア等が混入していないことを確認すること。

4.2 納品成果物一覧

(1) Web サイト基本設計書

デザイン概念定義

Web サイト全体構成図

コンテンツリスト

CMS 機能設計書

CMS ワークフロー

ワイヤーフレーム

(2) デザイン仕様書

(3) テスト設計書

サイト構造のテストするにあたり、基本方針・テスト内容を記述する

(4) テストケース一覧表 最終版はテスト結果報告書と併用する

(5) 素材を含むコンテンツSource およびCMS 完成品一式

検収

受託者は、本学の指示に従い、所定の場所にて検収検査を受けるものとする。

関連事項

6.1 瑕疵保証

- (1) 検収日の翌日起算で365日以内に、開発受託者の責に帰すべき瑕疵が認められた場合には、受託者は必要な対応を行うものとする。
- (2) 瑕疵責任についてその所在が不明・あいまいな事象が発生した場合は、本学及び関連業者で別途協議し対応する。

6.2 機密保持

- (1) 受託者は、受託業務の実施の過程で本学が開示した情報（公知の情報を除く。以下同じ。）、関連業者が提示した情報及び受託者が作成した情報を、本案件の目的以外に使用する、又は第三者に開示する、若しくは漏洩することを禁止する。さらに、そのために必要な措置を講ずることを求める。
契約期間終了後も同等の措置を維持すること。
- (2) 受託者は、本受託業務を実施するにあたり、本学から入手した資料等については管理台帳等により適切に管理し、かつ、以下の事項に従うこと。
受託者における提供情報等の複製は原則禁止する。ただし、受託者において複製が必要であると判断した場合には、予め本学と協議を行いその承認を得ること。
必要がなくなり次第、速やかに本学に返却すること。
機器納入完了後、上記アに記載される情報を削除又は返却し、受託者において該当情報を保持しないことを誓約する旨の書類を本学へ提出すること。
- (3) その他については、別に締結する契約書の定めに従うものとする。

6.3 本仕様に関する問合せ先

奈良県船橋町10番地

奈良県立大学 学生課

Tel.0742-22-4978 Fax.0742-22-4991